



## 平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 物語コーポレーション

上場取引所 東

コード番号 3097 URL <http://www.monogatari.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長・COO (氏名) 加治 幸夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部本部長 (氏名) 高津 徹也

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日

TEL 0532-63-8001

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

平成26年3月10日

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年6月期第2四半期の業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	12,576	19.2	1,003	10.3	1,039	7.6	622	22.3
25年6月期第2四半期	10,548	19.3	909	6.8	965	10.2	509	7.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第2四半期	122.92	122.11
25年6月期第2四半期	102.83	102.20

(注) 当社は、平成25年12月16日を払込期日とする公募増資により普通株式1,000,000株を発行しております。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年6月期第2四半期	16,342	1,550.08	9,287	1,550.08	56.7	1,550.08
25年6月期	12,467	1,155.07	5,761	1,155.07	46.1	1,155.07

(参考)自己資本 26年6月期第2四半期 9,278百万円 25年6月期 5,750百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年6月期	—	12.00	—	15.00	27.00
26年6月期	—	15.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年6月期の業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,641	17.9	2,144	14.2	2,220	11.0	1,294	19.7	234.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年6月期2Q	5,986,482 株	25年6月期	4,979,582 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年6月期2Q	748 株	25年6月期	748 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期2Q	5,068,078 株	25年6月期2Q	4,952,171 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成25年12月16日を払込期日とする公募増資により普通株式1,000,000株を発行しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、平成26年2月7日付にて、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、平成25年12月16日を払込期日とする公募増資により普通株式1,000,000株を発行しております。平成26年6月期の通期業績予想に記載の1株当たり当期純利益は、上記公募増資による普通株式1,000,000株の増加を加え、算出しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融緩和政策などにより景気回復基調が見られ、企業業績は持ち直しの兆しが見え始めたものの、円安進行による原材料価格等の上昇や平成26年4月からの消費税増税に伴い消費マインドの減退が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、一部に景気回復の兆しはあるものの、原材料価格やエネルギー価格の上昇によりコスト面での負担が増すなど、取巻く経営環境は引き続き厳しい状況となっております。

このような環境の中で当社は、経営理念「Smile&Sexy」のもと、経営目標である「お客様の心のリラックス」を実現するために、以下の2つの項目の底上げを行って参りました。

①お客様が持つ期待感の遙か上をいく「付加価値」を常に創造するために業態開発、業態改善を絶え間なく続ける「開発力」

②ホスピタリティ溢れ、お客様のニーズを先読みして行動できるプロフェッショナル性が高く、個性を発揮できる「人材力」

その上で、成長力のある業態を中心とした新規出店を推し進めるとともに、既存顧客の満足度向上や新たな顧客創造のために、各業態における既存店舗の品質・サービスレベルの向上、新メニュー開発、積極的な販売促進活動などの施策に取り組み、各ブランドの確立に努めて参りました。

また、当社は「焼肉きんぐ」及び「寿司・しゃぶしゃぶ食べ放題ゆず庵」を中心とした新規出店のための設備資金に充当することを目的に、平成25年12月16日を払込期日とする公募増資を実施いたしました。今後の持続的な成長の実現を目指すとともに財務体質の一層の強化を図り、強固な経営基盤の確立を目指して参ります。

店舗展開につきましては、直営店において8店舗の新規出店と1店舗の閉店を、フランチャイズ店において9店舗の新規出店と2店舗の閉店を実施いたしました。これにより、当第2四半期会計期間末におけるチェーン全体の店舗数は274店舗（直営店130店舗、フランチャイズ店144店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高12,576,585千円（前年同期比19.2%増）、営業利益1,003,783千円（前年同期比10.3%増）、経常利益1,039,697千円（前年同期比7.6%増）、四半期純利益622,954千円（前年同期比22.3%増）となりました。

当第2四半期累計期間におけるセグメント別の概況については、当社の事業は単一セグメントでありますので、その概況を部門別に示すと次のとおりであります。

焼肉部門におきましては、4店舗の新規出店を実施し、売上高7,591,827千円（前年同期比24.9%増）となりました。

ラーメン部門におきましては、1店舗の新規出店と1店舗の閉店を実施し、売上高2,072,918千円（前年同期比9.8%増）となりました。

お好み焼部門におきましては、1店舗の新規出店を実施し、売上高960,150千円（前年同期比6.1%減）となりました。

専門店部門におきましては、2店舗の新規出店を実施し、売上高789,115千円（前年同期比47.6%増）となりました。

フランチャイズ部門におきましては、焼肉業態で4店舗の新規出店を実施し、ラーメン業態で5店舗の新規出店と1店舗の閉店を実施し、お好み焼業態で1店舗の閉店を実施しました。売上高については、加盟契約店舗数の増加による売上ロイヤルティ収入及び製品売上等の増加により、1,162,573千円（前年同期比12.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は16,342,363千円となり、前事業年度末と比較して3,874,617千円の増加となりました。これは主に公募増資により現金及び預金が増加したこと、設備投資により有形固定資産が増加したこと等によるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債は7,054,897千円となり、前事業年度末と比較して348,826千円の増加となりました。これは主に設備関係未払金が増加した一方、買掛金及び長期借入金が増加したこと等によるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産は9,287,466千円となり、前事業年度末と比較して3,525,790千円の増加となりました。これは主に公募増資による資本金及び資本剰余金が増加したこと、利益剰余金の増加によるものであり、自己資本比率は56.7%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末と比較して2,004,362千円増加し、5,339,249千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、営業活動の結果得られた資金は1,062,017千円（前年同四半期は964,314千円の獲得）となりました。

これは主に、税引前四半期純利益が1,035,808千円あったこと及び減価償却費375,026千円によるキャッシュ・フローの増加等を反映したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、投資活動の結果使用した資金は2,232,918千円（前年同四半期は1,240,904千円の使用）となりました。

これは主に、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が943,275千円あったこと及び定期預金の預け入れによる支出が800,000千円あったこと等を反映したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、財務活動の結果得られた資金は3,175,263千円（前年同四半期は155,756千円の獲得）となりました。

これは主に、株式の発行による収入が2,954,447千円あったこと及び長期借入金の返済が383,948千円あった一方、設備投資のための借入金調達680,000千円あったこと等を反映したものであります。

## （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月期の業績予想につきましては、平成25年8月12日に公表しました内容に変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,334,887	6,139,249
売掛金	355,017	414,503
商品及び製品	125,803	176,842
原材料及び貯蔵品	19,613	28,234
その他	387,676	403,959
貸倒引当金	△114	△125
流動資産合計	4,222,882	7,162,664
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,990,735	4,355,234
その他（純額）	1,644,298	1,750,236
有形固定資産合計	5,635,034	6,105,471
無形固定資産		
投資その他の資産	69,321	69,440
差入保証金	1,791,021	1,902,835
その他	750,465	1,102,834
貸倒引当金	△978	△882
投資その他の資産合計	2,540,508	3,004,787
固定資産合計	8,244,864	9,179,699
資産合計	12,467,746	16,342,363
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	716,282	992,185
未払法人税等	443,891	443,757
株主優待引当金	17,269	18,442
その他	2,341,455	2,094,534
流動負債合計	3,518,899	3,548,919
固定負債		
長期借入金	2,117,271	2,373,942
退職給付引当金	226,531	242,150
役員退職慰労引当金	196,020	202,600
資産除去債務	132,467	136,252
その他	514,881	551,032
固定負債合計	3,187,171	3,505,977
負債合計	6,706,070	7,054,897

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,203,662	2,693,026
資本剰余金	1,076,512	2,565,877
利益剰余金	3,470,994	4,019,266
自己株式	△954	△954
株主資本合計	5,750,214	9,277,215
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	728	1,205
評価・換算差額等合計	728	1,205
新株予約権	10,732	9,045
純資産合計	5,761,675	9,287,466
負債純資産合計	12,467,746	16,342,363

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
売上高	10,548,032	12,576,585
売上原価	3,315,185	4,091,491
売上総利益	7,232,847	8,485,094
販売費及び一般管理費	6,323,340	7,481,310
営業利益	909,506	1,003,783
営業外収益		
受取利息	8,505	10,367
受取配当金	54	71
協賛金収入	43,407	39,621
その他	33,271	33,131
営業外収益合計	85,239	83,193
営業外費用		
支払利息	17,173	16,812
株式交付費	—	22,729
その他	11,782	7,738
営業外費用合計	28,955	47,279
経常利益	965,790	1,039,697
特別損失		
固定資産除却損	9,031	3,307
減損損失	58,478	—
店舗閉鎖損失	—	581
解約精算金	57,625	—
特別損失合計	125,135	3,888
税引前四半期純利益	840,654	1,035,808
法人税等	331,418	412,854
四半期純利益	509,236	622,954



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	840,654	1,035,808
減価償却費	336,301	375,026
株式報酬費用	1,932	—
減損損失	58,478	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△594	△86
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	3,320	1,172
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	17,938	15,619
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,370	6,580
受取利息及び受取配当金	△8,560	△10,439
支払利息	17,173	16,812
有形固定資産除却損	8,804	3,114
解約精算金	57,625	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△53,147	△59,485
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△35,752	△59,660
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△41,849	△15,075
仕入債務の増減額 (△は減少)	237,986	275,903
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△17,733	△60,294
未払費用の増減額 (△は減少)	75,435	70,197
その他の負債の増減額 (△は減少)	△19,740	△146,969
預り保証金の増減額 (△は減少)	4,000	38,000
その他	△31,540	5,678
小計	1,458,102	1,491,900
利息及び配当金の受取額	3,914	2,378
利息の支払額	△17,111	△17,028
契約解約金の支払額	△44,625	—
法人税等の支払額	△435,966	△415,231
営業活動によるキャッシュ・フロー	964,314	1,062,017
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△0	△800,000
関係会社出資金の払込による支出	—	△215,160
有形固定資産の取得による支出	△1,070,808	△943,275
無形固定資産の取得による支出	△7,665	△47,286
差入保証金の差入による支出	△211,183	△162,865
差入保証金の回収による収入	49,256	58,854
関係会社貸付けによる支出	—	△122,900
その他	△503	△284
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,240,904	△2,232,918

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	16,680	—
長期借入れによる収入	535,000	680,000
長期借入金の返済による支出	△346,029	△383,948
株式の発行による収入	5,779	2,954,447
配当金の支払額	△55,674	△75,235
財務活動によるキャッシュ・フロー	155,756	3,175,263
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△120,833	2,004,362
現金及び現金同等物の期首残高	2,414,806	3,334,887
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,293,972	5,339,249

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年12月16日を払込期日とする公募増資を実施しました。その結果、当第2四半期累計期間において、上記公募増資のほか、新株予約権の行使を含め、資本金が1,489,364千円、資本準備金が1,489,364千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が2,693,026千円、資本準備金が2,565,877千円となりました。

(セグメント情報等)

当社は飲食店事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。